

THE WEEKLY REPORT 2003▶2004



TAKIKAWA

# ROTARY CLUB

第2336回 2224 1月22日(木)



「百合の咲く庭園」 撮影／滝川ロータリー名誉会員 神部弘二

**ロータリーテーマ：手を貸そう**

ROTARY THEME : LEND A HAND

2003~04 国際ロータリー会長 ジョナサン.B.マジリアベ氏

**「変革にチャレンジ」** 林 博 幸 会長

第 2335 回例会記録 1 月 15 日(木)

## 副会長挨拶・報告



先週の新年会には、多くの会員が参加され楽しい企画で会が運営されました。宇山親睦委員長大変ご苦労様でした。

今日は北海道新聞社滝川支局長、守谷久様に「滝川を見て感じたこと」と題して講話を頂くわけでございます。今日の担当は鷺尾総務委員長でございます。皆さんご存知の通り鷺尾総務委員長は市町村合併問題の法定協議会の市民代表三人の委員の一人に選ばれています。

そのことも含めご紹介頂けるはずですが、この悪天候のため鷺尾委員長はまだ羽田空港にとどまっているとのことで、これませんので別の機会にお話頂きたいと思っております。

## 幹事報告

近隣の各クラブより会報が届いております。興味のある方は事務局でご覧下さい。

ガバナー月誌 1 月号が届いております。皆様のロッカーに入れてありますのでお持ち帰りをお願い致します。

観光協会より第 8 回全道雪中綱引き大会の会報が届いております。後ほど回覧致しますのでご覧下さい。

先週もお話しましたが、下期会費の納入の件でございますが、今月末の締め切りになっておりますのでお早めに納入をお願い致します。

財団寄付の関係で 7 月から 10 月までに 1 ドル 116 円でご寄付頂いた方が 37 名おられます。1 ドル 110 円で送金しましたので、差額のお返しがございます。事務局に申し出て差額を受け取って頂きますようお願い致します。

本日午後 6 時 30 分より第 12 回の定例理事会を開催します。役員理事の方はよろしくお願い致します。

## 委員会報告

松原 章 S A A

S A A から今回の座席につきましては、血液型で分けております。1 番テーブルから 4 番テーブルまでが A 型、5 番から 7 番テーブルまでが B 型、8 番テーブルが A B 型、残りのテーブルが O 型です。割合を見ますと、109 人中、A 型が 40 名、B 型が 24 名、A B 型が 13 名、O 型が 32 名でございます。

## 先週のプログラム

ゲスト卓話

総務委員会担当

続木副委員長



先ほど副会長よりご報告がございましたが、本来なら鷺尾総務委員長がご挨拶するところでございますが、この悪天候で帰ってこれないことで変わって私をご紹介申し上げます。

今日は、北海道新聞社滝川支局長、守谷

久氏に「滝川を見て感じたこと」と題して講話願います。それでは守谷氏の略歴をご紹介します。1954年に留萌市に生まれ、東北大学法学部を卒業され、1976年に北海道新聞社に入社され北見支社次長、本社整理部次長、本社生活部次長を歴任の後、現在滝川支局支局長をお勤めになっております。また、著書に「頑張れドサンコ 釧路湿原トレッキング」を発行しておりますので是非朗読願います。簡単ですがご紹介の挨拶とさせていただきます。

北海道新聞社滝川支局長 守谷 久様



今日は、お招き頂きありがとうございます。滝川を見て感じたことをお話頂きたいと鷲尾委員長から頼まれまして、タイトルは「滝川を見て感じたこと」ですが、

私個人は北海道新聞社の中では、学生時代は乗馬部という馬術に身をおきまして、それ以来30年以上、馬に携わりながら新聞記者をして地域で馬の使った地域興しを提言しておりまして、実際に実現したこともあります。昨年の9月に滝川に来まして、今私の頭にあるのは滝川を元気にしたい、そのために何か出来ることはないかと考えているわけですが、どうしてもやはり馬に目がいってしまいました。今日はそのようなことで、お話をさせて頂きたいです。年明け、今月11日・12日の二日間ベルロードに馬そりが走りました。「レトロに行こう」というテーマで行われました。懐かしいかなと思いいなった方もいるだろうし、こん

なことで中心街の賑わいを取り戻せるかなと考える方もいるだろうし、様々な考え方があると思います。私は、非常に良い企画だと感じました。その時の裏話を私が聞いた範囲以内でお伝えします。騎手をされた方は、加藤さんという方で年齢は32歳、江部乙出身です。昨年までは、ばんえい競馬のジョッキーをされ、10何勝もされた方です。加藤さんは、赤平の金山さんというスタージョッキーの下で訓練され、昨年の暮れ家庭の事情により現役騎手を退き家に帰っておりましたが、この企画が持ち上がった時、故郷のためになるなら手綱をとりましようということになりました。加藤さんとお話すると、とても馬好きで穏和な方で心の内に秘めたものは素晴らしいものがあるなと思ってお話致しました。二日間合わせて1回に10人以上の子供を乗せて往復800メートルくらいベルロードを走り、子供達の歓声が響き、とても良い企画だと私は思います。

一日目は7往復、二日目は8往復しました。これは何か新しい滝川の町おこしにつながるのではと感じました。

私は先ほど紹介がございましたけど、10年ほど前「頑張れドサンコ 釧路湿原トレッキング」という本を書きました。それは、釧路湿原の鶴居村で30頭ほど馬(ドサンコ)を飼っているおじいちゃんとお会い、その馬を使い釧路湿原国立公園を観光探索できないだろうか、たいてい国立公園といえば車で廻り、温泉につかるのが最も多いパターンで、そうではなく昔の風景



## ≡≡≡BOX

を今残されている豊かな自然を北海道開拓にかかわったドサンコを使い何かできないかテーマを持ちました。鶴居村では当時の環境庁の支援を受けて取り組み、けっこうな人気になり、鶴居村にドサンコ牧場が誕生することになり、そんな時にふと思ったんですけど、この企画の立て役者はいったい誰なんだろうと、それはきっと鶴居村の瀬川鶴雄さんだろう、ずっと馬を飼いつけてきた人は現在90歳、岩見沢の病院に入院中で、私と出会った頃は70歳ほどでした。その時言っていたこの馬は現在使われていないが、北海道開拓はこの馬無しには成り立たなかった。

滝川には丸加高原がありますね。滝川で他の町の人に誇れものは何かと考えると丸加高原の景観はすごいな、こんなところでコーストレッキングができたらいいなと思う。コーストレッキングとは、基本的に野山を馬に乗り、老人から子供までコミュニケーションをとりながら歩るものです。そんなことができたらいいなと田村市長に申しましたら、検討させてみようと言って頂きましたが、このような経済情勢の中なので、様々な問題があり簡単にはいかないと思いますが、丸加地区は滝川で一番の財産だと思えます。

最後に私はこの地域を元気にしたい、そのために自分は何が出来るか、報道の仕事を通し携わっていきたい。

林 博幸会員 やっと滝川に帰ってきました。皆様のご厚情に感謝しつつ、下期のスタートに当たりまして、今後共よろしくご支援下さい。

佐藤 圭二会員 腰を痛めて暫く休みました。クラブよりお見舞ありがとうございます。

山根 英治会員 新年の行事を終えて。

篠島 弘会員 結婚記念日のお食事券を頂いて。

松原 章会員 結婚記念日のお食事券を頂いて。

吉住 敏夫会員 猛吹雪の中、今朝滝川に無事着き例会に出席出来ました。

1 / 29 (木) ゲスト卓話 (米山委員会)

(国際交流協会より)

「他国から見た日本の感想」等

会長/林 博幸  
幹事/川口 義弘  
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日 ●毎週木曜日 PM12:30  
例会場 ●ホテルスエヒロ  
事務局 ●☎073-0032滝川市明神町2丁目2-16  
ホテルスエヒロ7F TEL (0125) 22-3344  
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。